

(5) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

令和3年は年間報告数11例、年間定点当たり報告数0.16、年間定点当たり報告数の過去5年平均値(平成28年から令和2年まで。以下同じ。)との比、前年比ともに0.00であった。

月別定点当たり報告数では、1月及び2月(共に0.04)が最も多かったが、年間を通じて総じて少なかった。

年齢階級別では、0～4歳(4例、36.4%)が最も多く、次いで20～29歳(3例、27.3%)、5～9歳、10～14歳、30～39歳、60～69歳(各1例、9.1%)であった。

